



2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年5月11日

上場会社名 株式会社チャーム・ケア・コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 6062 URL http://www.charmcc.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下村 隆彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 里見 幸弘 TEL 06-6445-3389
 管理本部長兼経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の業績 (2019年7月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	14,437	19.4	1,366	41.3	1,313	40.2	856	21.2
2019年6月期第3四半期	12,094	24.0	967	72.9	937	83.4	706	136.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	28.57	28.53
2019年6月期第3四半期	25.16	25.13

(注) 当社は2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	23,677	9,471	39.8
2019年6月期	18,805	4,584	24.3

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 9,435百万円 2019年6月期 4,563百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期 (予想)	—	—	—	6.50	6.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年6月期の配当予想については、当該株式分割を考慮した配当金の額を記載しております。2019年6月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2020年6月期の業績予想 (2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	20.8	1,850	30.0	1,800	30.0	1,000	△0.9	32.64

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 2020年6月期 (予想) の1株当たり当期純利益は、2019年12月2日を払込期日とする公募による新株式発行2,000,000株と2019年12月25日を払込期日とする第三者割当による新株式発行300,000株を考慮して算出しております。
 3. 当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割を考慮し、算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料7頁「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年6月期3Q	32,712,000株	2019年6月期	28,112,000株
② 期末自己株式数	2020年6月期3Q	103,488株	2019年6月期	103,308株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年6月期3Q	29,982,340株	2019年6月期3Q	28,089,766株

(注) 当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が続くなか、景気の動向も緩やかな回復基調で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い内外経済に多大な影響が及んでおり、消費者マインドも冷え込むなど、非常に厳しい先行きが予想されます。

介護業界におきましては、異業種からの新規参入による競争の激化や雇用情勢の改善に伴い、当業界を取り巻く環境は厳しさを増しております。なお、消費税率の引き上げに伴う2019年度の臨時介護報酬改定につきましては、勤続年数10年以上の介護福祉士を中心とした特定処遇改善加算を中心としたプラス改定となっております。

そのような状況のなか、当社は、「高齢者生活サービスを中心として、お客様お一人おひとりの価値観を大切に、お客様にあった魅力的な生活を提案する」という経営理念を掲げ、開設エリアのお客様のニーズに応じた価格設定及びお客様にとって魅力的な介護サービスのご提供を通じて競争優位性の確保に向けた取り組みを進めてまいりました。

介護職における雇用情勢につきましては、2020年3月の有効求人倍率は4.10倍（全国平均・常用（パート含む））と全職種平均の1.30倍を大きく上回り、介護職員の確保が課題として顕在化しております。そのような環境のなか、当社ではより良い人材の確保及び定着に向け、処遇改善を行うとともに、従業員それぞれのライフスタイルに応じた働き方の選択肢を増やしました。また、ホーム運営における人員配置の適正化や業務効率化を進めております。今後とも当社は、お客様へより質の高いサービスをご提供できるよう、従業員が働きやすい職場環境づくりに邁進してまいります。

当第3四半期累計期間における運営状況につきましては、運営ホーム数の合計は57ホーム、居室数は3,902室となりました。ホームの入居状況につきましては、開設2年目を経過した既存ホームにおいて96.8%（前年同期96.9%）と高い入居率を維持しております。また、当第3四半期累計期間に開設したホームの入居につきましても、順調に進んでおります。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は14,437百万円（前年同期比19.4%増）、営業利益は1,366百万円（同41.3%増）、経常利益は1,313百万円（同40.2%増）、四半期純利益は856百万円（同21.2%増）となりました。

当事業年度における新規開設の状況は以下のとおりです。

近畿圏においてドミナント戦略を維持し、強固な運営基盤を構築するとともに、介護施設の大幅な不足が懸念される首都圏に重点を置いて、高級住宅地を中心に、アッパーミドル～富裕層をターゲットとした高価格帯ブランド「チャームプレミア」シリーズの積極的な開設を進めております。

案件	所在	居室数	開設年月日
チャームプレミアグラン松濤	東京都渋谷区	36室	2019年8月
チャーム西宮上ヶ原	兵庫県西宮市	60室	2019年8月
チャームプレミア山手町	横浜市中区	36室	2019年12月
チャームスイート千里津雲台	大阪府吹田市	60室	2020年2月
チャームスイート桜上水	東京都杉並区	55室	2020年2月
チャームスイート新横浜	横浜市港北区	63室	2020年3月
チャームプレミア柿の木坂	東京都目黒区	37室	2020年4月
チャームスイート東逗子	神奈川県逗子市	63室	2020年5月
合計8ホーム（首都圏6ホーム、近畿圏2ホーム）		410室	

当社は、「介護事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の状況の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は23,677百万円となり、前事業年度末に比べ4,872百万円増加いたしました。流動資産は7,854百万円となり、前事業年度末に比べ3,526百万円増加いたしました。この主な要因は、増資等により現金及び預金が3,318百万円増加したことに加え、売掛金が181百万円増加したことによるものであります。固定資産は15,822百万円となり、前事業年度末に比べ1,345百万円増加いたしました。この主な要因は、有形固定資産が947百万円、差入保証金が307百万円、金銭の信託が130百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は14,206百万円となり、前事業年度末に比べ14百万円減少いたしました。流動負債は5,204百万円となり、前事業年度末に比べ217百万円増加いたしました。この主な要因は、短期借入金金が381百万円、賞与引当金が218百万円、前受収益が137百万円増加した一方で、未払法人税等が378百万円減少したことによるものであります。固定負債は9,002百万円となり、前事業年度末に比べ232百万円減少いたしました。この主な要因は、長期前受収益が230百万円増加した一方で、長期借入金が539百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は9,471百万円となり、前事業年度末に比べ4,886百万円増加いたしました。この主な要因は、増資により資本金が2,074百万円、資本剰余金が2,074百万円、四半期純利益の計上及び配当により利益剰余金が716百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の業績予想につきましては、2019年8月5日に公表しました業績予想に変更はありません。新型コロナウイルス感染症の国内における感染拡大に伴い、新規のご入居はやや低調に推移する可能性を織り込んでおりますが、既存ホームにおいて依然高い入居率を維持しているほか、本社経費の抑制等もあり、現時点において期初計画どおり進捗しております。

運営ホームにおきましては、スタッフの感染症予防はもちろんのこと、ご入居者様・ご家族様・ご来訪者様に対しましても、来訪・外出の原則お断り、ホーム来訪時の手洗い・うがい・手指消毒・検温等の徹底により、感染症予防に尽力し、ご入居者様の安全確保、健康維持に努めてまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,249,298	5,567,304
売掛金	1,653,694	1,835,082
貯蔵品	3,363	5,044
その他	421,712	447,041
流動資産合計	4,328,068	7,854,473
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,345,090	7,345,090
減価償却累計額	△2,203,429	△2,380,902
建物(純額)	5,141,660	4,964,188
構築物	354,227	354,227
減価償却累計額	△155,710	△169,551
構築物(純額)	198,516	184,676
機械及び装置	11,336	11,336
減価償却累計額	△7,552	△7,887
機械及び装置(純額)	3,783	3,448
車両運搬具	11,811	11,811
減価償却累計額	△1,311	△3,933
車両運搬具(純額)	10,500	7,878
工具、器具及び備品	335,548	426,424
減価償却累計額	△236,419	△276,676
工具、器具及び備品(純額)	99,128	149,748
土地	1,104,196	1,840,827
リース資産	499,984	479,566
減価償却累計額	△247,986	△200,819
リース資産(純額)	251,998	278,747
建設仮勘定	5,905	333,834
有形固定資産合計	6,815,690	7,763,347
無形固定資産	111,570	108,062
投資その他の資産		
差入保証金	3,406,578	3,713,840
金銭の信託	3,454,350	3,584,817
その他	688,878	652,923
投資その他の資産合計	7,549,807	7,951,581
固定資産合計	14,477,068	15,822,992
資産合計	18,805,136	23,677,465

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	167,728	197,996
短期借入金	573,600	954,936
1年内返済予定の長期借入金	816,769	779,398
未払法人税等	538,165	159,977
前受収益	1,286,924	1,424,390
賞与引当金	82,041	300,763
その他	1,520,962	1,386,727
流動負債合計	4,986,191	5,204,189
固定負債		
長期借入金	5,282,351	4,742,555
退職給付引当金	301,862	367,248
長期前受収益	3,093,716	3,323,836
資産除去債務	176,212	178,115
その他	380,034	390,333
固定負債合計	9,234,178	9,002,089
負債合計	14,220,369	14,206,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,420	2,759,250
資本剰余金	673,420	2,748,250
利益剰余金	3,307,448	4,023,940
自己株式	△82,745	△82,904
株主資本合計	4,582,543	9,448,535
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△18,779	△13,415
評価・換算差額等合計	△18,779	△13,415
新株予約権	21,004	36,065
純資産合計	4,584,767	9,471,186
負債純資産合計	18,805,136	23,677,465

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	12,094,303	14,437,425
売上原価	10,044,604	11,803,627
売上総利益	2,049,698	2,633,797
販売費及び一般管理費	1,082,256	1,266,856
営業利益	967,442	1,366,941
営業外収益		
受取利息	2,255	2,550
助成金収入	7,185	1,825
受取賃貸料	1,743	1,892
受取保険金	1,443	194
その他	946	1,300
営業外収益合計	13,573	7,762
営業外費用		
支払利息	40,686	38,151
株式交付費	—	21,434
その他	2,820	1,177
営業外費用合計	43,506	60,762
経常利益	937,508	1,313,941
特別利益		
固定資産受贈益	—	4,968
事業譲渡益	260,188	—
特別利益合計	260,188	4,968
特別損失		
固定資産除却損	—	113
特別損失合計	—	113
税引前四半期純利益	1,197,696	1,318,795
法人税等	491,055	462,260
四半期純利益	706,641	856,535

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年11月15日開催の取締役会において、公募による新株式発行及び第三者割当による新株式発行を行うことを決議し、2019年12月2日を払込期日として公募による新株式発行2,000,000株を行い、2019年12月25日を払込期日として第三者割当による新株式発行300,000株を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が2,074,830千円、資本剰余金が2,074,830千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が2,759,250千円、資本剰余金が2,748,250千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。